

■会長/山田 文雄 ■幹事/小平 直史

◆司会=北川 和彦SAA、合田 敦子副SAA

◆ゲストビジター=折井正明・第2600地区ガバナー、篠原敏・諏訪グループガバナー補佐、宮坂昌樹・地区副幹事、堀直将・松本ロータリークラブ奉仕委員長

◆出席報告

本日	62.0%	19名欠席
前回訂正	80.0%	10名欠席

◆ラッキーナンバー=No. 6 川村総一郎君

◆ニコニコボックス=●松本ロータリークラブ 堀直将様=本日は楽しみして伺いました。何卒、よろしくお願いします。

●松本ロータリークラブ 宮坂昌樹様=本日は、よろしくお願いします。●山田文雄君・小平直史君=折井正明ガバナー、篠原敏ガバナー補佐、宮坂昌樹地区副幹事、松本RC堀直将をお迎えました。歓迎申し上げます。●北川和彦君・合田敦子君=折井ガバナー、一年間よろしくお願いします。●藤森郁男君=ポールハリスフェロー4回目のバッジを頂いて。●有賀昭彦君=①折井ガバナー本日はありがとうございます。②永年勤続を頂いて。●小口武男君=折井ガバナーようこそ。お体に気を付けて一年間ご活躍下さい。●八幡一成君=折井ガバナー、お久しぶりです。本日はよろしくお願いします。●古屋了君=折井ガバナー、ようこそ。本日、集合写真撮影承ります。ありがとうございます。●折井俊美・玉本広人君=折井ガバナーようこそ諏訪RCへ。久々に「公家の折井」・「落武者の折井」のそらいぶみですね。●小針哲郎君=結婚記念日のお花、ありがとうございます。●平林明君=折井ガバナーようこそお越しいただきました。●花岡秀則君=4年ぶりの通常開催、諏訪湖の花火に感動しました。●川村総一郎君=ラッキーナンバーに当たって。

◆会長告知・山田文雄君=本日はガバナー公式訪問例会です。折井正明ガバナー 諏訪クラブへようこそお越しくださいました。歓迎申し上げます。私は折井ガバナーにお会いするのは、PETSに続いて2回目ですが、諏訪クラブのメンバーの中には良くご存じの方も多と思います。折井ガバナーは当クラブの親クラブであります松本RCの会員でもあり、かつてはお仕事の関係で当クラブにも2004年から約5年在籍され、記録によると2007-08山崎晃会長、小口武男幹事年度に親睦・クラブ親善委員長を、2008-09藤森省作会長・平林明幹事年度に社会奉仕委員長を務められています。今日はガバナーとしてお越し頂きました。RIや2600地区の方向性や想いを直接お聞きし、今後のクラブ運営に活かして行きたいと思っております。今日は宜しくお願いします。さて、今日は私がなぜ会長告知で、まるで新入会員セミナーのようなお話をしようと決心したのかをお話ししたいと思います。もちろんこれはコロナ禍で新入会員には3年間もセミナーが出来なかった反省も理由のひとつですが、私は少々病気をしたせいか、会長エレクトが多く出席するRLIを受講しても、会長エレクト研修セミナーPETSを受講しても実はなかなかやる気が湧かなかった中、4月になるとさすがに、「これは困ったことになったぞ、中でも会長告知をど

うするのか」と焦り始め、毎日何時間も業界紙やロータリー関係の書籍を読み漁った時期がありました。その中で偶然出会ったのが、田中毅バスターガバナーの記した一節です。奇しくも、後で分かった事ですが、それはかつてエレクト時代の平林明君が会って一筋の光を見つけたという、その文章でした。それは以下の様に書かれていました。

「会長には、限られた例会の時間の中で3~5分の時間が与えられます。この時間をフルに活用して、ロータリーの理念を語りかけて下さい。くれぐれも時候の挨拶や新聞記事の紹介でお茶を濁さないで下さい。」衝撃を受けました。これで覚悟が決まった訳です。次回より頑張って続けます。但し、当面はライトな話題を心掛けます。今日の会長告知は以上とします。

◆幹事報告・小平直史君=①本日の例会は、折井ガバナーの公式訪問です。折井ガバナーよりよろしくお願い致します。

例会終了後、諏訪湖畔のブロンズ像「空へ」前で、記念撮影を行いますので、ご移動をお願いします。②諏訪湖畔での写真撮影のあと、理事会を開催いたします。理事会メンバーの皆様は、布半1F駐車場側のラウンジにお集まりください。③8月のロータリーレートは、1ドル=141.00円となります。④RI日本事務局より藤森郁男会員に、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー4回認定のバッジが届いています。後ほど、会長より授与をしていただきます。

◆セレモニー

●ロータリー財団マルチプル・ポール・ハリス・フェロー=藤森郁男君(4回目)



◆クラブ協議会・ガバナー公式訪問

●折井正明・2600地区ガバナー=皆さんこんにちは。私にとりましては、諏訪クラブは第2のホームクラブでございます。諏訪で当社の支店長をすることになりまして、以来5年間、諏訪クラブにお世話になりました。今日は、ガバナーの公式訪問ということで、お話しをさせて頂く訳ですが、ガバナーというのは国際ロータリーの役員を1年間務める立場であります。従いまして、私の第1のミッションは、国際ロータリーのテーマですとか、方針等を皆様とともに理解をすること、第2のミッションは、この2600地区において、皆さんに今年1年、どのような考えのもとで運営をするのか理解いただくこと、どのようなお願いをするのかお伝えることである、と考えております。本日のテーマとしましては、「私たちのロータリーライフを実りある楽しいものにするために」、副題としては、「ロータリーに学び、行動し、楽しみましょう」ということで、お話を進めて参りたいと思っております。2023-2024年度のRIテーマは、「世界に希望を生み出そう“Create hope in the world”」であります。ゴードン・マッキナリー会長は今年1月に開催されました国際協議会の開会メインセッションで、このテーマを発表されました。世界に希望を生み出すために重要なことは、平和に重点的に取り組むことであり、ロシア軍による侵攻を受けたウクライナの人々を支援するためにロータリー会員が過去1年以上行動してきたこと等に言及し、平和に重点的に取り組むことを通じてロータリーが世界に希望を生み出すといったような内容を説明されておりました。



また、今年度のテーマとしては、従来「イニシアチブ」という言葉で国際ロータリーが掲げておりました、「年度の重点取り組み項目」を継続し、前進させることの重要性を強調されました。さらには、

新型コロナウイルスの流行や戦争など世界で起きている様々な原因によって増大し深刻化しているメンタルヘルスの問題を新たに取り上げ、同じように希望を与える努力をしていくべきだと述べました。

次に、ロータリーの「ビジョン声明」：「私たちは世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能なよい変化を産むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています」についてであります。ちなみにこのビジョンは国際ロータリーの理事会等により、2021年6月に承認されたものであります。そして、ビジョン声明が採択されてまもなく、今度は戦略計画委員会がロータリーの新しい行動計画の立案を開始しました。「行動計画」は、組織レベルの活動を導く、という目的で策定されたもので、また、「行動計画」を推し進めるために、「戦略的優先事項」というものも同時に発表されています。2018年6月に理事会と管理委員会によって、この「行動計画」ならびに「戦略的優先事項」について承認されましたので、以来5年、現在のロータリーの前進させるべき、極めて重要な指針が、ビジョン声明であり、これに基づく行動計画ということになる訳です。ここで、今申し上げました国際ロータリーの「戦略的優先事項」の内容と「行動計画」の関係について、整理をしたいと思います。国際ロータリーでは、「行動計画」を受け入れ、実行するための現実的な方法をクラブの皆さんに提供すること、それこそが地域社会に持続可能な変化を産む、最善の方法である、と考えています。そして、「行動計画」に盛り込まれるべき要素として、4つの戦略的優先事項がある訳ですが、まず、最初に既知の成果と実証された証拠に基づいて、奉仕プロジェクトを立案する方法について会員に話す必要がある、ということが第1の戦略的優先事項になります。これが、行動計画では、より大きなインパクトをもたらす、という項目に対応します。例えば、過去40年ロータリーが多大なエネルギーを注いできたポリオ根絶活動を見ますと、その軌跡や実績については、すべてデータや映像に残され、実証されてきております。2番目に来る「私たちは奉仕する全ての人々とオープンで、インクルーシブで、思いやりのある心を持って接する」という戦略的優先事項については、行動計画においては、「参加者の基盤を広げる」という項目に対応します。第3の「世代や国境を越えて活動し、多様な人々と関係を築くために、あらゆる機会を探し求める」という戦略的優先事項は、参加者の積極的な関わりを促すという行動計画に対応します。そして最後に「世界に持続可能な変化を産む、新しいアイデアや視点を進んで受け入れていく」という戦略的優先事項は、行動計画においては「行動力を高める」という項目になってまいります。さらにこの他に、具体的に、継続し、前進させるべき項目として、ご紹介いたします。

まず、最優先事項と致しましては、ポリオ根絶運動でございま

す。ロータリーは、先駆者として40年、世界中に多大な影響を与えました。野生株由来のポリオは、現在99.9%根絶の所まで来ております。2026年の根絶宣言を人類における感染症の2番目の根絶宣言、これをポリオですするためには、これから3年間、自然由来のポリオの発症例がないこと、が条件であります。しかしながら、現状は予断を許さない、極めて厳しい状況であります。次のイニシアチブはロータリーの地位向上、女兒のエンパワメント、そしてDEI（多様性・公平性・インクルージョン）への取り組みの継続と前進であります。

国際ロータリーからのメッセージはこの辺にして、国際ロータリー2600地区の基本方針をご提案しているのかについて、ご説明いたします。まず、地区標語ですが「Let's send out the joy of Rotary in action, hand in hand!

手をつなぎ行動するロータリーの喜びを発信しよう！」に致しました。私たちは、持続可能な良い変化をもたらすために、手を取り合い、共に行動することにより、喜びを実感する。私たちが喜びを実感していることを、世の中に発信することが大切だと考え、このような標語に致しました。また、2600地区の行動計画について「ポリオ根絶活動について、地区全体として明確に実現する」としました。その訳ですけど、今、わたくしが申し上げた、「喜びを実感できる行動」とは、過去40年にわたって国際ロータリーが世の中の先駆けとして展開してきたポリオ根絶活動が、最もふさわしい活動であると考えからであります。また、私たちがポリオ根絶活動の意味を改めて振り返り、2026年のポリオ根絶宣言を目指して、最後のカウントダウンに、私たち自身がコミットすることを通じ、ロータリーとはどのような団体なのか、身をもって経験することで、ロータリアンとしてのアイデンティティを再認識することが、今、成すべき「継続と前進」に他ならない、と考えるからであります。また、その思いから、重点目標を「あと一歩まで来たポリオ根絶のために私たちは行動する」と行動計画と重ねた訳であります。そのねらいとして、①ロータリーの公共イメージ向上、②広がりある参加者の基盤と積極的な参加、③ポリオ根絶と会員増強に向けてのより大きなインパクト、④時代精神にのっとった他団体との協調・連携により「適応力を高める」にあると考えます。

結びになりますが、皆さんのロータリーライフが充実した、そして、楽しいものでありますように、お願いをしてわたくしからのメッセージとさせていただきます。



◆今後の例会日程

8/25(金)	クラブフォーラム 会員増強・拡大月間
9/1(金)	家族例会 納涼例会
9/8(金)	クラブ協議会 ロータリーの友特別月間
9/15(金)	ゴルフ例会